

令和5年11月30日

須賀川市議会議長 大寺正晃 様

須賀川市議会 政悠会

代表 本田勝善



### 視察研修報告書

先に実施した視察研修概要について、下記の通り報告します。

#### 記

- 1, 期日 令和5年11月8日～10日
- 2, 視察研修先 京都府京都市
- 3, 視察内容
  - (1) 広瀬行政研究所 主催「戦略的な質問手法を考  
える」セミナー
  - (2) 空き家バンク京都の取組について
- 4, 参加者 本田勝善 浜尾一美 齊藤秀幸
- 5, 概要 行政調査日程及び内容は、別紙添付資料の通り

以上



## 須賀川市議会政悠会 行政視察日程

日程 令和5年11月9日(水) 10:00~17:00

場所 京都経済センター

(株)廣瀬行政研究所主催 議員・職員のための地方議会セミナー

戦略的な質問手法を考える～具体的な作成方法とともに～

講師 稲村和美 氏(前尼崎市長)

「戦略的一般質問のススメ」10:00~13:00

講師 相崎佐和子 氏(前兵庫県議会議員・元伊丹市議会議員)

「現実につながる一般質問の作り方」14:00~17:00

日程 令和5年11月10日(木) 10:00~11:00

場所 京都市南区

「空き家バンク京都の取りくみについて」

空き家バンク京都職員

政悠会調査項目

(株)廣瀬行政研究所主催 議員・職員のための地方議会セミナー

## 戦略的な質問手法を考える～具体的な作成方法とともに～in 京都

【京都府京都市 京都経済センター】

「戦略的一般質問のススメ」 10:00～13:00

講師 稲村和美（前尼崎市長）

講演内容

1. 議員としての自己分析を
2. 一般質問は戦略と獲得目標を明確に
3. 市長の視点での「良い質問」「イマイチな質問」
4. 市長答弁と職員答弁
5. 予算だけでなく実施された施策の評価も！

「現実につながる一般質問の作り方」 14:00～17:00

講師 相崎佐和子（前兵庫県議会議員・元伊丹市議会議員）

講演内容

1. 5つの質問パターン
2. 質問ネタの集め方
3. ネタが決まれば情報収集
4. ロジックの組み立て方
5. ヒヤリングでの交渉術
6. 本番でのアナウンサー的なテクニック
7. 質問を成功に導く心構え

トークディスカッション

質問や課題など

出席者名簿

|          |    |            |    |           |    |
|----------|----|------------|----|-----------|----|
| 愛知県刈谷市議会 | 2名 | 福岡県町村議会議長会 | 1名 | 宮崎県宮崎市議会  | 1名 |
| 愛知県小牧市議会 | 5名 | 大分県津久見市議会  | 1名 | 岡山県井原市議会  | 2名 |
| 北海道栗山町議会 | 1名 | 兵庫県姫路市議会   | 1名 | 福島県須賀川市議会 | 3名 |
| 愛知県豊橋市議会 | 1名 | 鳥取県倉吉市議会   | 1名 | 群馬県群馬県議会  | 1名 |

政悠会調査項目

京都府京都市南区

「空き家バンク京都の取組について」

10:00～11:00

空き家バンク京都 代表 鈴木一輝 氏

業務内容

- ・ 空き家相談
- ・ 空き家再生
- ・ 移住・創業支援
- ・ まちづくり
- ・ 子ども食堂／カフェ



政総会 行政視察 令和5年11月9日

地方議会議員七十三 「所感」

戦略的な質問手法を考へる～具体的な方法として

講師に前尼崎市長を3期務めた相村和美様

前兵庫県議会議員の相崎佐和子様の講演を

聞いた訳ですが、一般質問が重要なのが市の現状を

把握し市民の意見要望をどこだけ的確に質問し

実現、実行できるかだと感じました。

その中で、一般質問には情報確認型(数字や客観的

事実を市民に広く知らせる方法)また追及型(当局に

反省を促すべき点の明確化や矛盾点の追及の方法)

政策実現型があると思はれるが、私自身は一般質問

を何に感じているのか、どこだけ市民が市政に対して

望んでいるかをその必要性として重要性を訴えている

かだと思っている。その中で一般質問を行う上で

大切なのが、まずその事に関する情報の収集だと感じ

ている。今後も政策の実現に向けて、市民の声を市政

に一般質問を通してしっかりと取り組んでいきたい。

1、「戦略的な質問手法をかんがえる～具体的な作成方法とともに～」

今回のセミナーを受講して、理想や合理性だけでは進まないのが政治である。様々な一般質問のパターンがあるなかで、議員としての自己分析をして、自分のストロングポイントを意識したポジショニングが大切である。考えに縛られないことが、新人や若手議員の特権であり、多様な議員の考え方があるからこそ議会は、力を発揮できる。どうすれば共感してもらえるか、どのようにすれば対応できるか目的が何なのか、やるなら効果を考えながら、シリーズ化して一般質問を行っていくことが、重要だと感じた。また、説得力が増す話し方のコツなど、企画を通すつもりでロジックを組み立てながら、DESC法(デスク法)などを用いて、読むのではなく話しかけるよう、中学生や高齢者が理解できるように作成したほうがより伝わりやすくなると感じた。今回のセミナーを受けさらに様々な視点から、課題や改善につながるアプローチをすることが大切と感じた。

2、空き家バンク京都

空き家バンク京都の取組について、約100件前後の空き家が登録されており、100円からASK(価格相談)の物件、成約中や成約済などが記載されており、キャッシュコピーにおいて、「古民家で猫と暮らす」「家出て3秒で海へダイブ」など使われている写真を含め大変見やすく、探しやすい工夫がされている。また、子ども食堂も隣接されており、毎月開催されている。多くの企業・個人の方々の協力を得ながら、ボランティアの皆様と活動されている。

## 1、「戦略的な質問手法を考える ～具体的な作成方法とともに～」について

今回講師を務めていただいた先生は、前兵庫県尼崎市長元兵庫県議会議員 稲村和美氏と、前兵庫県議会議員元伊丹市議会議員 相崎佐和子氏の2名であり、執行部と議会の両面から見た効果的な一般質問の方法を学ぶことができた。

議員にはそれぞれ、経済や教育といった得意分野があり、議会での質問は一般的な定義の「知らないことを問う」という意味の質問ではなく、自分の得意分野を活かした戦略と獲得目標を定めたものでなければならないということである。

二元代表制のもとに、馴れ合いではなく、また、感情的対立でもなく、健全な緊張感と建設的議論そこが大事であり、そのためには議員としての自己分析を行い、長所を活かした質問の組み立てが必要であると感じた。

また、相崎講師はアナウンサー出身であることから、ヒアリングでの交渉術や質問本番でのアナウンサー的テクニックも学ぶことができ、陥りがちな原稿を読むだけの質問ではなく、聞き手を惹きこむ話術にまで言及した講座内容だったのが印象的であった。

## 2、京都市での空き家対策について

最終日には京都市内にある空き家バンクを運営する「空き家バンク京都」を訪問することができ、職員の方からお話を伺うことが出来た。

現在、京都市では古い町屋などの空き家問題が顕著となり、「京都市空家等の活用、適正管理等に関する条例」も制定され、空き家対策の先進地ともいえるが、この団体では、空き家バンクを運営するほか子ども食堂も運営しており、また、新規創業の実績も豊富であり、リノベーションした空き家をそのまま保存しておくのではなく、利活用の推進にも積極的な活動をしている。

たとえ新築の家屋でも、無人の状態が続くと荒廃が加速するものである。須賀川市においても「お試し居住」などの用途にリノベーションした空き家を再利用しているところだが、団体や企業などの利用促進にも力を入れ、改修費用を回収しつつ物件の保存も兼ねてみてはどうかと感じたところである。